

HARMONY HALL FUKUI

一

期

一

演

OFFICIAL
GUIDE BOOK

2018.4-2019.3

私の中の県立音楽堂

宮下 奈都

いちばん新しいエッセイ集に、県立音楽堂で上演した音楽劇の原作が収録されている。2014年の「リトル・ピアニスト」と2016年の「大きな鳥」。それ以外にも、県立音楽堂は私のエッセイの中に何度か登場している。

本にまとめるにあたって読み返していたら、「ハーモニーホール」と「県立音楽堂」、ふたつの名前が出てくることに気づいた。どちらかに統一しますか？と編集者が聞いてきた。同じ施設にふたつの呼称があるのはわかりにくいのではないか、福井の人ならいざ知らず、全国の人が読むのだからひとつに書き換えたほうがいいのではないか、という提案だった。

たしかに、2014年に書いた文章では、「ハーモニーホール」と

している。それが、2016年には「県立音楽堂」になっていた。私の好きな福井の景色を紹介する文章にも「県立音楽堂」は出てくる。

編集者は、念のため、「ハーモニーホール」とい「県立音楽堂」に、どちらを正式な名前として使うと、担当の方は、どちらも公式

のものとした上で、「ここに音楽を聴きにくるお客様は親しみを込めて、ハーモニーさん」と呼ぶことが多く、県の関係者や音楽家たちは「音楽堂」と呼ぶことが多いですね」と補足した。ああ、なるほど、と思った。2014年の、初めて原作を書いた時点では、私はまだお客様の立場だった。それまでに何度も音楽を聴きにきていた。美しい音符の形の建物に足を

踏み入れるとき、いつも胸が躍った。あの頃は、「ハーモニーホール」と呼んでいたのだ。それから二年が経ち、二度目の上演を終えた後に書いた文章では、自然に「県立音楽堂」に変わっていた。それは、意識せずに言葉に表れた、私自身の変化だった。

原作を書き、スタッフと打ち合わせをし、音楽家や俳優たちのリハーサルに立ち会い、舞台が立ち上がるまで傍で見届けた。そういう何物にも代えがたい充実した時間を経て、私の中で「ハーモニーホール」は「県立音楽堂」になったのだった。ささやかな、でもたしかかなよろこびが文章に宿っていた。

エッセイ集の表記は、あえてそのままにしようことにした。

エッセイ集の表記は、あえてそのままにしようことにした。

New book Introduction

宮下奈都さんの新刊

『緑の庭で寝ころんで』（実業之日本社）

月刊「fu」（福井新聞社）に連載中の「緑の庭の子どもたち」4年分（2013～2017）を中心に、この期間に書かれたエッセイ、音楽劇原作、掌編小説などを収録。本屋大賞受賞前後を含む宮下さんの4年間の凝縮されています。音楽にまつわる話も多く、「ハーモニーホールふくい」で行われたコンサートに触れた文章もあります。



©堀田芳希

作家。福井県生まれ。2016年「羊と鋼の森」で第13回本屋大賞受賞。ほかに「スコール No.4」「誰かが足りない」「神さまたちの遊ぶ庭」など。最新刊は「緑の庭で寝ころんで」

CONTENTS

P. 2 Special Essay
作家 宮下 奈都

P. 3 | Orchestra | 豪華絢爛

Special Interview

サントリーホール館長 堤 剛

ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団
フランクフルト放送交響楽団
ブルガリア国立歌劇場
NHK 交響楽団
ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー

P. 7 | Classic | 原点回帰

Special Interview

声楽家 ジュゼッペ・サツバティーニ

ジュゼッペ・サツバティーニ リサイタル
ライナー・キュッヒル&福田進一
カール・ハインツ・シュッツ&シャルロッテ・バルツェライト
郷古 廉&加藤洋之
黒川 侑 ヴァイオリン・プロジェクト

P. 11 | Original | 福井発信

🎵 スペシャル・チェンバー・コンサート
🎵 「オペラへの誘い」Ⅲ
🎵 若い芽コンサート
サマー・マリンバコンサート

P. 13 | Variety | 多種多彩

Special Interview

人間国宝・鶴賀流十一代目家元 鶴賀 若狭掾

江戸伝統芸能を楽しむタベ
スーパー4トロンボーンズ！
ザ・キングズ・シンガーズ
ザ・ベース・ギャング
山中千尋 ニューヨーク・トリオ

P. 17 | Family | 夢次世代

Special Interview

俳優 鶴見 辰吾

初夏の子どもコンサート
「ステージできく」コンサート
クリスマス・コンサート ソノス・ハンドベル
福井県新人演奏会
「音楽の森」コンサート

P. 21 | Service Information |

ホール、音楽を愛するすべての方にお届けする各種情報

2019
1.14 (月・祝) 協賛 **FBC**
 15:00開演/大ホール

ニューイヤーコンサート2019
 ウィーン・フォルクスオーパー
 交響楽団

SS席 ¥10,000 S席 ¥8,000 A席 ¥7,000
 B席 ¥6,000 車いす席 ¥8,000 (学生半額)
 出演/指揮:アレクサンダー・ジョエル
 ソプラノ:アナ・マリア・ラビン
 テノール:トーマス・ブロンデル
 管弦楽:ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団
 バレエ:バレエ・アンサンブルSVOウィーン
 曲目/ヨハン・シュトラウスⅡなどの序曲
 ヨハン・シュトラウスⅡ:ワルツ「美しく青きドナウ」ほか



特別協賛会員・友の会会員 2割引!

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団による、東京のサントリーホール恒例のニューイヤーコンサートが、福井にもやってきます。ウィーナ・ワルツやポルカの演奏では世界最高峰のウィーン・フォルクスオーパー交響楽団。笑いを誘う演出や観客を巻き込んだの手拍子、一気に舞台が華やかになるバレエなど、楽しさ満載のコンサート

指揮者は、アレクサンダー・ジョエル。ドイツで活躍中の逸材です。



ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団
 バレエ・アンサンブルSVOウィーン



アレクサンダー・ジョエル アナ・マリア・ラビン トーマス・ブロンデル



堤館長のお父様は福井出身。「今回の福井でのフォルクスオーパー公演は、音楽を志して上京した父への恩返しのような気がしています」

Special
 Interview

愛されるホールであるとともに
 一歩足を踏み入れたら夢を与える
 別世界でもありたい。

サントリーホール 館長
堤 剛 (つづみ つよし)

名実ともに日本を代表するチェリスト。幼少から父に手ほどきを受け、8歳で第1回リサイタル。桐朋学園で音楽専攻に専攻、インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。1963年カザルス国際コンクール第1位入賞。2009年紫綬褒章受章。2013年文化功労者。1988年から2006年までインディアナ大学の教授を、2004年から2013年まで桐朋学園大学学長を務めた。2007年サントリーホール館長就任

取材協力: サントリーホール

リニューアルのこだわりは
 響きと雰囲気への継承

ニューイヤーコンサート終演後の熱気が、まだそこかしこに残るホールで、お話を伺いました。「舞台上の全員がとても楽しんで演奏していて、お正月にふさわしいコンサートでしたね」サントリーホールは昨年、1986年の開館以来最大の改修を実施。生命線である音響や雰囲気は変えないようにしつつ、様々な方が快適に楽しめるように、設備のリニューアルを行いました。「舞台の床板も張り替えましたが、前と同じ材質の木を使っています。壁や客席の床などホルルの他の木の部分は変えていません。毎日のように良い音を聞かせてもらって熟成され、よく響くようになった財産ですから」客席の椅子は一度全席取りはずしましたが、以前と全く同じ生地を使用して張り替えも行いました。「開館時、指揮者のカラヤン先生から、椅子の生地に至るまでこの雰囲気は福井の方にも味わってもらえたらと思います」

地元で支持されてこそ
 本物の音楽芸術

「地元港区の人たちに、ここは自分たちのホールだと思ってもらうことが大事です。2014年から、港区の小学4年生全員を対象にした音楽体験プログラムを行い、ホールに足を運んでもらっているのもその一環です」 「ハーモニーホールふくい」でも、毎年県内の全小学5年生をコンサートに招いています。共通

音響にこだわるようアドヴァイスをもらいました」

リニューアルしたホールの音響は、以前にも増してお客様からの評判もよく、恒例のニューイヤーコンサートも例年通り行われました。1994年以来、サントリーホールのニューイヤーコンサートといえば、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団です。

ウィーンの薫りを運ぶ
 フォルクスオーパーの魅力

「メンバーのチームワークの良さはサツカーの連係プレーを見ているようです。最後に「美しく青きドナウ」を演奏すると決まっていますが、それ以外の選曲は毎年工夫してくれるので、常連のお客様にも楽しんでいただいています」 フォルクスオーパーの魅力は、ウィーンの生活から湧き出てくるような演奏だといいます。「メンバーが子どもの頃から親しんできた音楽を楽しんでやっている感じですよ。洗練されたウィーン・フィルとも違う、下町

の想いを感じました。

「愛されるホールであるとともに夢を与える別世界でもありたいですね。音楽祭で知られるザルツブルクに行くと、街の人たちが「自分たちの音楽祭」というプライドを持っていることが感じられます。私たちも、300人以上のスタッフが「自分たちは世界一の職場で働いている」という誇りを持っていきます。地元の方たちにも「ここには素晴らしいものがある」と思ってもらえたら、一緒に歴史を歩んでいると感じてもらいたい。それが本物の音楽芸術を創っていくことになると考えています」



NHK交響楽団

協賛 福井新聞社 福井銀行

2019
2.2(土)
16:00開演/大ホール

ロベルト・フォレス・ベセス指揮
NHK交響楽団
ピアノ:ソン・ヨルム

S席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
バックシート席 ¥4,000 車いす席 ¥7,000 (学生半額)
出演/指揮:ロベルト・フォレス・ベセス、ピアノ:ソン・ヨルム、管弦楽:NHK交響楽団
曲目/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番、ドヴォルザーク:交響曲 第7番
<共催:FBC福井放送>



ロベルト・フォレス・ベセス ©Joan Baptiste Millet



ソン・ヨルム ©Jaehyong Park

「1年に1回は聴きたい」という固定ファンも多いN響。タクトを執るのは、2017年にチャイコフスキー作品でN響デビュー、絶賛を博したロベルト・フォレス・ベセス。人気のチャイコフスキーとドヴォルザークを携え、福井初お目見えます。
ソリストはソン・ヨルム。同じ韓国出身のチョ・ソンジンは、近年大いに注目を集めています。ソルムは、それ以前から若手から認められ、韓国を代表するピアニストです。演奏するのは、奇しくも、チョ・ソンジンが前回の福井公演で弾いたチャイコフスキーの第1番です。



「人形の精」組曲

協賛 坪田バレエ団

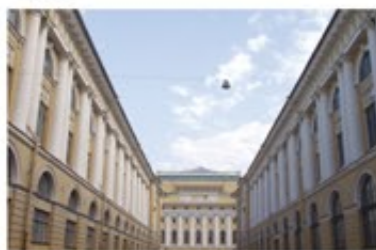
2019
1.27(日)
16:00開演/大ホール

ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー
「人形の精」&「パキータ」

S席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000 車いす席 ¥8,000 (学生半額)
振付/コンスタンチン・セルゲエフ(「人形の精」組曲)
マリウス・プティパ(「パキータ」)
出演/指揮:フレリー・オフシャニコフ
管弦楽:セントラル愛知交響楽団
演目/「人形の精」組曲、パキータ



パキータ



ワガノワ・バレエ・アカデミー

「くるみ割り人形」で大好評を博したカンパニーが再登場。オーケストラの生演奏とともに観る本格バレエです。
ワガノワ・バレエ・アカデミーは、ロシアが誇る国立のバレエ総合教育機関。10代の優秀なダンサーたちで「人形の精」に登場する多彩なキャラクターを演じ分けられるのは、このアカデミーならではの、このアカデミーならではの。人形店が舞台のこの作品は、子どもの視点を生かした楽しい演出が見どころです。小品のエッセンスが光る「パキータ」とともに、世界各地から選ばれた精鋭たちの瑞々しさが、余すところなく発揮されるステージです。



フランクフルト放送交響楽団 ©Harald Hoffmann/DG

協賛 FM FUKUI 福井新聞社

6.15(金)
19:00開演/大ホール

アンドレス・オロスコ=エストラーダ指揮
フランクフルト放送交響楽団
ピアノ:チョ・ソンジン

S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000
バックシート席 ¥6,000 車いす席 ¥10,000 (学生半額)
出演/指揮:アンドレス・オロスコ=エストラーダ、ピアノ:チョ・ソンジン
管弦楽:フランクフルト放送交響楽団
曲目/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番、マーラー:交響曲 第5番
<共催:福井テレビ>



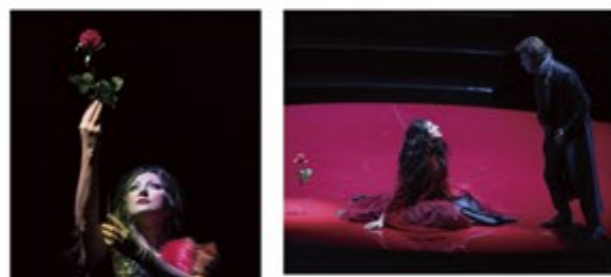
アンドレス・オロスコ=エストラーダ ©Harald Hoffmann/DG



チョ・ソンジン ©Harald Hoffmann/DG

ドイツの名門オーケストラが初登場です。マーラーの第5番は、演奏時間1時間以上に及ぶ大作。ヴィスコンティの映画「ヴェニスに死す」では、第4楽章「アダージエット」の美しいメロディが使われるなど名曲中の名曲。人気のラフマニノフでソリストを迎えるのは、2015年のシヨパン国際コンクール優勝者チョ・ソンジン。2016年のニューイヤークンサートで、故・中村絢子の代役として登場した彼の鮮やかな演奏を憶えている方も多くでしょう。あれから2年半、飛躍を続ける彼のステージは、チケット売り切れ必至です。

特別協賛会員・友の会会員 2割引



協賛 セーレン株式会社

10.10(水)
18:30開演/大ホール

ブルガリア国立歌劇場
オペラ「カルメン」
(字幕付原語上演)

SS席 ¥12,000 S席 ¥10,000 A席 ¥8,000
B席 ¥6,000 車いす席 ¥8,000 (学生半額)
演出/ブラーメン・カルター・ロフ
出演/ブルガリア国立歌劇場管弦楽団&合唱団
演目/ビゼー:オペラ「カルメン」



特別協賛会員 2割引

ブルガリアの名門歌劇場が再びやってきます。前回の「トゥーランドット」では、オルガン席やバックシートまで使い、コンサートホールという空間をうまく生かした演出で、観客をあっと言わせてくれました。
今回の演目は「カルメン」。「ハバナ」や「闘牛士の歌」など名曲揃いの作品です。現地では既に初日の幕が開き、連日大盛況だとか。公演に先駆けて7月に行われる「オペラへの誘い」III(P11参照)で予習をしておくと、さらに深く楽しめること間違いなしです。

9.25(火) 協賛 福井信用金庫

19:00開演/大ホール

ジュゼッペ・サッパティーニ リサイタル
～心に響く歌曲を集めて～

S席 ¥5,000 A席 ¥4,000

車いす席 ¥4,000 (学生半額)

出演/歌:ジュゼッペ・サッパティーニ

ピアノ:マルコ・ボエーミ

曲目/リスト:ペトルカの詩による3つのソネット

ファリャ:7つのスペイン民謡

トスティ:私は恋人

ブッチェーニ:太陽と愛、愛の短い物語

レオンカヴァッロ:君はどう? はか

<共催:FBC福井放送>



テノール歌手として一世を風靡し、人気絶頂時に指揮者に転身したサッパティーニが、60歳を機に歌手活動を再開しました。既に1月には、ベルリンで再出発第1弾のコンサートを終え、「テノールでもバリトンでもない、歌手サッパティーニとしてのステージを実現出来たと思う」と手応えを感じているようです。福井公演は日本ツアーの初日を飾ります。

相棒は、歌手になった頃からの友人であり、サッパティーニが歌う際には、ピアニストとして、またオーケストラの指揮者として共演してきたマルコ・ボエーミです。



左)マルコ・ボエーミ 右)ジュゼッペ・サッパティーニ

ジュゼッペ・サッパティーニ

(Giuseppe Sabbatini)

世界的なテノール歌手として日本でも絶大な人気を誇り、2003年にはオーストリア宮廷歌手の称号を授与される。そんな人気絶頂のさなか、2007年からは指揮者、声楽指導者に転向。指揮者としてはマリエッラ・デヴィーアら一流歌手と共演。あれから約10年、歌手としてついに復活する。



Special Interview

自分のすべてをさらけ出さないと、感動は生まれない。



歌うことも指揮をすることも教えることも、同じなんです

「8歳の頃から50年以上、空気を振動させる仕事をしてきたんだよ」と、茶目っ気たっぷりの表情で語り始めたサッパティーニさん。少年時代から聖歌隊で歌い、24歳でオーケストラのコンサートバス奏者に。30歳で声楽家に転身。50歳で声楽家から指揮者と指導者に、と活躍の場を変化させてきました。

「歌うこと、楽器を演奏すること、指揮をすること、そして教えることも、私にとっては同じことです。音楽によって自分の中に生まれたアイデアを外に出し、自分のすべてをさらけ出して表現しなければならぬという点で同じなのです」

それでも、指揮者にはずっとなりたかったと言います。「コントラバス奏者をやりな

がら声楽の勉強を始めた時には、自分の中にはっきりとした計画がありました。20年間、歌手として活動して、劇場や音楽関係者との信頼を築き、その間に指揮の勉強もして指揮者になろうと考えました」

やがてテノール歌手として頭角を現し、世界中の劇場のステージに立つようになります。

「ソリストとして舞台にいても、自分が歌っていない間は指揮者のことをずっと見ていましたね。そして家に帰ると、まるで音楽学校の1年生のように作曲法などの勉強をしていました(笑)」

指揮者になりたいのだとマエストロたちに打ち明けると、みんなが口を揃えて言ったのは、「指揮法というのは教わるものじゃない。自分の方法を見つけるものだ」ということでした。「その音楽が何を表現してい

るか、自分の頭で考えて理解していれば、指揮は自然に出来るはずだ、ってね。これは歌の場合同じなんです」

サッパティーニさんは、サンクトリーホルのオペラアカデミーなどで後進の指導にも長年携わっていますが、レッスンを常に言っているのは「怖がらずに自分を聞きなさい」ということ。

「偉大な歌手の真似をしても意味はありません。同じ一節を歌っても、歩んできた人生が違うのだから、人が違えば歌も違うものになるはず。自分のすべてをさらけ出して、自分なりの分析をして、自分の心で歌わなければ感動は生まれません」

再出発する気持ちで歌手活動を再開

今回のコンサートツアーは、約10年ぶりに歌手にカムバックとすることで話題を呼んでいます。

「もちろん指揮者は続いています。60歳になり、再出発を試みようという気持ちになりました。そこで改めて、すべてに自分が責任を持って表現出来るものは何だろうか?と考えてみたら、それは歌うことだ!と思っただけです」

30年来の友人である、ピアニストで指揮者のマルコ・ボエーミさんに相談したところ、大賛成してくれて、彼を伴奏者に迎えてのコンサートが実現することになりました。ボエーミさんとは、歌手時代、数々の舞台で一緒に組んできた仲です。

「福井のお客様に喜んでいただけると、最高のプログラムを考案中ですが、自分の力を最も発揮出来るもの、そして自分が今一番歌いたいもので、みなさんを楽しませたいと思っています」



郷古 廉 ©Hisao Suzuki



加藤 洋之

協賛 URALA

11.22 (木)
19:00開演/小ホール

郷古 廉&加藤洋之 ブラームス ヴァイオリン・ソナタ・ツィクルス

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ヴァイオリン:郷古 廉、ピアノ:加藤洋之
曲目/ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 全3曲

10代の頃から日本各地のオーケストラと共演を重ね、現在はウィーンを拠点に活動する郷古廉。2013年にはティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリン・コンクールで優勝、聴衆賞、現代曲賞を獲得し、国内外で注目を集めている若手ヴァイオリニストです。

そんな郷古が、ヨーロッパ各地で活躍しウィーン・フィルのメンバーの信頼も厚いピアニスト加藤洋之と組んで、ブラームスのヴァイオリン・ソナタを全曲演奏します。

2年前の神尾真由子が熱演したブラームス・ツィクルスとは別の感動のステージ、お約束します。



協賛 県民福井 中日新聞

5.2 (水)
19:00開演/小ホール

風と緑の楽都音楽祭 in ふくい ライナー・キュッヒル&福田進一 ウィーンのサロンコンサート

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (学生半額)
出演/ヴァイオリン:ライナー・キュッヒル、ギター:福田進一
曲目/バガニーニ:協奏風ソナタ、サラサーテ:カルメン幻想曲 ほか
※60分(休憩なし)プログラム
<企画制作:いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会>



福田進一



ライナー・キュッヒル
©Winnie Kuechl

ウィーン・フィルの顔としてコンサートマスターを45年間務めたライナー・キュッヒルと、日本ギター界の大御所、福田進一によるデュオ・コンサートです。

同じ弦楽器ですが、こすって音を出すヴァイオリンと、はじいて音を出すギター、さて組み合わせると?と考えると、組み合わせるべき作品集を遺すなど、昔からなかなか相性はいいようです。

「風と緑の楽都音楽祭」のサテライト公演ということで、この2人の演奏がお手頃な値段で聴けるのもうれしいところ。気軽に足を運べそうです。



黒川 侑



青柳 晋

協賛 (公財)げんでんふれあい福井財団

2019
2.23 (土)
15:00開演/小ホール

黒川 侑 ヴァイオリン・プロジェクト「魂」 ピアノ:青柳 晋

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ヴァイオリン:黒川 侑、ピアノ:青柳 晋
曲目/バルトーク:ヴァイオリンとピアノのため狂詩曲 第1番
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番「クワイツェル」 ほか

30年度は、ヴァイオリンとピアノによるリサイタルが2つ楽しめるのも大きな魅力。第2弾は、2013年に光音楽賞、2014年に京都市芸術新人賞を受賞した黒川侑が、満を持して立ち上げる自身のリサイタル・プロジェクトです。

初回のテーマは「魂(Spirit)」。

黒川によれば、「発露する魂だけでなく、今の僕のなかにある魂だと思える構成にします」とのこと。

ピアニストには、2016年にも共演し、大好評を博した日本屈指の実力派ピアニスト、青柳晋を迎えます。息の合った2人が、どんな「魂」の音を聴かせてくれるでしょうか。



カール・ハインツ・シュッツ



シャルロット・バルツェライト

協賛 AOXAMA

6.5 (火)
19:00開演/小ホール

カール=ハインツ・シュッツ & シャルロット・バルツェライト デュオ・リサイタル

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/フルート:カール・ハインツ・シュッツ
ハープ:シャルロット・バルツェライト
曲目/ドブラー:ハンガリー田園幻想曲
ドビュッシー:シラクス
ピエルネ:即興奇想曲 ほか



写真提供:川西市みづなかホール

フルートのカール=ハインツ・シュッツ、ハープのシャルロット・バルツェライトという、ウィーン国立歌劇場管弦楽団&ウィーン・フィルの首席奏者同士のデュオです。

フルートとハープと言えば超定番のアンサンブルで名曲揃い。共に豊かな音色と見事なテクニクを兼ね備えた2人は、ソリストとしての実績も豊富です。まさに、世界最高のフルート&ハープデュオと言えるでしょう。吹奏楽部や個人でフルートを学んでいる学生さんたちにも聴いていただきたいリサイタルです。

優雅な時間を至高の音でお楽しみください。



7.5 (木)
19:00開演/小ホール

越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバー・コンサート

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ディノ カルテット(ヴァイオリン:室屋光一郎、伊藤 彩、ヴィオラ:生野正樹、チェロ:向井 航)
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子、ヴィオラ:山口梨恵、チェロ:荒井結子)
ヴィオラ:笠川 恵
曲目/ハイドン:弦楽四重奏曲 第76番「五度」
スメタナ:弦楽四重奏曲 第1番「我が生涯から」
ブラームス:弦楽五重奏曲 第2番 Ⅱa



ディノ カルテット



フェスティバル・カルテット

「越のルビー音楽祭」10周年を記念して、まさにスペシャルなステージが実現します。
ホールのレジデント・カルテットとして5年目。「スペシャル・チェンバー・コンサート」の中心的役割を果たしてきたディノ・カルテットと、「越のルビー音楽祭」を1年目から支えてきたフェスティバル・カルテットの共演です。
フェスティバル・カルテットには、アンサンブル・モデルンのヴィオラ奏者、笠川恵が加わっての五重奏の演奏も。2つのカルテットと笠川による、笠松泰洋書きおろしの協奏曲スタイルの弦楽九重奏曲も必聴です。



7.13 (金)
19:00開演/小ホール

越のルビー音楽祭 「オペラへの誘い」Ⅲ ～カルメン・ハイライト～

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
企画・構成・解説/小宮正安
出演/メゾ・ソプラノ:勝倉小百合、ソプラノ:吉田珠代、テノール:藤田卓也
バリトン:成田博之、合唱:渡邊朋哉 Ⅱa、ピアノ:竹内真紀、打楽器:平岡愛子、山崎智里
曲目/ビゼー:オペラ「カルメン」Ⅱa 「闘牛士の歌」、「ハバネラ」 Ⅱa



小宮正安

勝倉小百合

吉田珠代



藤田卓也

成田博之

渡邊朋哉



竹内真紀

平岡愛子

山崎智里

オペラが身近になる！オペラが楽しくなる！何よりオペラをもっと観たくなる！と好評を得ている「オペラへの誘い」シリーズの第3弾。今回も、ヨーロッパ文化史が専門の小宮正安先生がナビゲーター役で、オペラの歴史的背景から裏話、聴き所までを楽しくひもときます。
取り上げる演目は「カルメン」。東京を拠点に活躍している勝倉小百合と吉田珠代が、名曲をたっぷりお届けします。勝倉はフラメンコも相当の腕前なので、魅力的なカルメンの登場に期待しましょう。10月のオペラ「カルメン」公演の予習としても最適です。



7.26 (木)
19:00開演/小ホール

越のルビー音楽祭 若い芽コンサート2018

全席自由 ¥1,000 車いす席 ¥800 (学生半額)
出演/県内出身または在住の中学生・高校生(オーディション合格者)
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子、ヴィオラ:山口梨恵、チェロ:荒井結子)
構成/第1部:ソロ・ステージ
第2部:弦楽四重奏との共演ステージ



前回の出演者たち



フェスティバル・カルテット

音楽家のタマゴたちがプロと共演する、音楽祭恒例の若手育成コンサートです。
出演は、2月の公開オーディションで選ばれた中学生・高校生。このコンサートで本格デビューし、今は「越のルビーアーティスト」(福井出身・在住またはゆかりのプロたち)として活躍する演奏家も多く出てきており、若い力は確実に育っています。
それぞれがソロと弦楽カルテットとの共演を披露。同郷の先輩でもあるフェスティバル・カルテットが、リハーサルの段階からコンサート当日まで、若い彼らをサポートします。



8.19 (日)
15:00開演/小ホール

サマー・マリimbaコンサート2018

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/マリimba:エマニュエル・セジオルネ、小川佳津子、神谷百子、布谷史人 Ⅱa
曲目/エマニュエル・セジオルネ:UN TEL AMOUR
スティーブ・ライヒ:ELECTRIC COUNTERPOINT Ⅱa



エマニュエル・セジオルネ



小川佳津子

神谷百子
©江藤麗本

布谷史人
©Claudia Hansen

楽器メーカーが福井にある縁で、ハーブと交互に隔年で開催されているマリimbaの祭典です。
毎回、世界のトップクラスのゲストが登場することで知られるこのコンサート。今回はエマニュエル・セジオルネを迎えます。クラシックからポップスまでを手掛けるマリimba奏者であり、作曲家でもあるセジオルネ。彼のオリジナル曲を自身の演奏で聴ける特別な機会です。
マリimbaを学ぶ方ももちろん、あまり聴いたことがないという方にもオススメ。「マリimbaでこんな世界が表現出来るのか!」と目からウロコがぼろぼろ落ちること間違いなしです。

12.2(日) 協賛 株式会社 新内

15:00開演/小ホール

新内節 人間国宝 鶴賀若狭掾が贈る
江戸伝統芸能を楽しむ夕べ

全席指定 ¥5,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)

出演/新内節: 鶴賀若狭掾、富士松菊三郎

鶴賀伊勢吉、富士松菊子 ほか

手妻: 藤山新太郎

箏: 大谷祥子

八王子車人形: 西川古柳

舞踊: 花柳貴比、藤間信乃輔

囃物: 望月朴清

舞踊: 福井・浜町芸妓組合

演目/日高川、蝶の流転転生、くずのは ほか

注目していただきたいのは、人間国宝・鶴賀若狭掾が手妻、箏とくりひろげるコラボレーションです。日本奇術「手妻」の継承者である藤山新太郎、そして、浄土真宗東本願寺派の僧侶、あわら市の「吉崎御坊蓮如上人記念館」館長でもある箏曲家の大谷祥子とともに、「蝶の流転転生」をテーマにしたオリジナル作品を披露します。昨年東京で初演した「蝶流転の舞」を発展させたもので、男女の蝶の生涯を「聴かせ」、「見せ」ます。さらには八王子車人形と新内による「くずのは」の上演と盛り沢山です。

公演の冒頭では、地元福井から浜町の芸妓が皆さまをお出迎え。リラックスして「和」の世界をお楽しみください。



鶴賀若狭掾



富士松菊三郎



鶴賀伊勢吉



富士松菊子



藤山新太郎



大谷祥子



西川古柳



花柳貴比



藤間信乃輔



望月朴清



福井・浜町芸妓組合



三味線を持つと姿勢と表情が変わります。
「三味線の音色の美しさも、新内の魅力だね」

Special Interview

伝統を継承しつつ
常にクリエイターでありたい。



「志ん生師匠はお店によく来てくれました」。向田邦子、井上靖、古今亭志ん朝…大御所の名前が話の端々に次々と登場



人間国宝
鶴賀流十一代目家元
鶴賀 若狭掾
(つるが・わかさのじょう)

東京生まれ。新内節鶴賀流11代目家元。新内節浄瑠璃の重要無形文化財保持者(人間国宝)・新内協会理事長・新宿区名誉区民・平成21年度文化庁文化交流使・平成21年旭日小授賞を授与・石川県白山市松任学習センターコンサートホール名誉館長・NHK邦楽技能者育成会十二期卒・国内演奏はもとより40ヶ国で公演

「新内を何とかしなければ」の一心でやってきた

「今日は、とてもホッとしてる日なんだよ」

稽古場兼自宅の一室で、若狭掾さんは上機嫌で迎えてくれました。昨日、邦楽番組の気の張る録音が終わったのだとか。

「大変だったけど、やってよかった。録音日に向けて稽古して節制もして、新内をやってるから身体も保っているんだな」

新内は、江戸時代の中頃、豊後節から派生した浄瑠璃の一派。庶民の気持ちを節に乗せて語る芸です。父・初代鶴賀伊勢太夫の元で新内を習い始めたのは10歳の頃。「新内では生活できないから継がなくてもいい」と言われていたそうです。18歳の時、NHK邦楽技能者育成会に入学。これが大きな転機でした。

「育成会で邦楽のいろんなジャンルの人に出会い、他に比べて新内の世界は後ろ向きだなあ、俺が何とかしなければと思っちゃったんだね」

「年配の方ほど『新内』流しの芸』だと思ってる。僕はどこへ行っても、そのイメージを払拭するところから始めます」

新内の特徴は、節・曲調が美しく内容がわかりやすいところ。「新内は物語を聴かせる芸。聞き取りやすいよう発声発音をきちんとするのがウチの流儀です」

さらに、「見ても面白い」ものにしたと、異分野とのコラボレーションにも積極的です。「新内を知らない人たちに対しては、こちらから懐に入っていくことが大事。まあ、そういうことが好きなんだね。常にクリ

母が営む小料理屋を手伝いながら新内を続け、父が亡くなったからは、店の仕事、弟子の稽古、自分の稽古と多忙な日々が50代半ばまで続きました。

「でもね、店に新内ファンのお客さんが増えて、僕を支えてくれました」

2000年、新内の創始者・鶴賀若狭掾の名前を襲名(十一代目)。その翌年には人間国宝の認定を受けました。

「新内は軽く見られていたから、認定は新内のためにはよかったです。芸というのは、演じ終わって音がすべて消えた瞬間に、初めて完成するもの。工芸や美術作品と違ってモノが残らない。だから新内を広めるために、僕はやり続けなきゃいけないの」

新内の魅力はどこにある？

新内は、歌舞伎や人形芝居の浄瑠璃と違って素の浄瑠璃であったため、「流し」という形をとることが多く、そのせいで軽く見られてきたのではないかと若狭掾さんは言います。

5.12 (土)
18:30開演/小ホール

スーパー4トロンボーンズ!

全席指定 ¥4,000 車いす席 ¥3,200 (学生半額)

出演/Slide Monsters

トロンボーン:中川英二郎、ジョゼフ・アレッシ

マーシャル・ギルクス、プラント・アテマ

曲目/中川英二郎:Trisense

バーンスタイン:「ウェスト・サイド・ストーリー」から

ドビュッシー:「映像」第1集から「水の反映」から



日本を代表するトロンボーン奏者、中川英二郎。「トロンボーン」の神様」と称されるジョゼフ・アレッシ。2015年、この2人が小曽根真率いるジャズ集団「No Name Horses」のツアーで共演した際、「ハーモニーホールふくい」で息の合った演奏を聴いた方も多いため、それがきっかけで結成されたのが、世界の最前線で活躍するトロンボーン・カルテットSlide Monsters(スライド・モンスターズ)「略してスラモン」!

目指すのは、ジャンルの枠を超えた新しい世界。最新のオリジナル曲、クラシック、ジャズなど、幅広くお贈りします。



Slide Monsters ©Simon Yu



中川英二郎 ©武藤 章



ジョゼフ・アレッシ



マーシャル・ギルクス



プラント・アテマ

協賛 ▲ 江守商事株式会社

6.3 (日)
15:00開演/小ホール

結成50周年ライブ ～ザ・キングズ・シンガーズ～

全席指定 ¥6,000 ベア券 ¥10,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)

出演/ザ・キングズ・シンガーズ

カウンターテナー:パトリック・ダナキー、ティモシー・ウェイン=ライト

テナー:ジュリアン・グレゴリー、バリトン:クリストファー・ブリュートン、クリストファー・ガビタス

バス:ジョナサン・ハワード

曲目/イギリス民謡「グリーンズリーブス」、アイルランド民謡「ダニー・ボーイ」

オブラディ・オブラダ(ビートルズ)、日本民謡「竹田の子守歌」から



今から50年前、イギリスのキングス・カレッジの精鋭6人が集まり結成された男性ヴォーカル・アンサンブルです。メンバーチェンジを経ながら、半世紀にわたって男声合唱の世界最高峰に君臨し続ける彼らの歌声は、アカペラ界のレジェンドです。

レパートリーは幅広く、クラシック音楽、現代曲、世界各国の民謡、ポップスなど通算2000曲以上。「竹田の子守歌」や「佐渡おけさ」など、日本の民謡も。年代を問わず楽しめるコンサートなので、家族連れにもオススメです。



THE KING'S SINGERS



パトリック・ダナキー



ティモシー・ウェイン=ライト



ジュリアン・グレゴリー



クリストファー・ブリュートン



クリストファー・ガビタス



ジョナサン・ハワード

10.16 (火)
19:00開演/小ホール

陽気なヴィルトゥオーゾ ザ・ベース・ギャング

全席指定 ¥4,000 車いす席 ¥3,200 (学生半額)

出演/ザ・ベース・ギャング

コントラバス:アメリカゴ・ベルナルディ、アルベルト・ボチャーニ

アンドレア・ビーギ、アントニオ・シアンカレボレ

曲目/デンツァ:フニクリ・フニクラ、モドゥーニョ:ヴォラレ

J.S.バッハ:G線上のアリア、プロコルハルム:青い影

サンタナ:ムーン・フラワー、ミーナ:月影のナポリ ほか



コントラバスと言えば、オーケストラでは緑の下の力持ち。然々とベースラインを弾いているイメージがあるかもしれませんが、イタリヤ生まれの面白くて陽気なコントラバス四重奏団があります。その名も「ザ・ベース・ギャング」。普段は名門オーケストラや歌劇場でクラシックを演奏している4人のコントラバス奏者が、超絶技巧で遊びまくるアンサンブル集団です。

ジャズ、ラテン、映画音楽、ロックなどジャンルを問わず、クラシック音楽も彼らの手にかかればユーモラスなノリノリナンバードに。思わず身体が動くコンサートです。



ザ・ベース・ギャング

協賛 ● 福井テレビ

11.7 (水)
19:00開演/小ホール

山中千尋 ニューヨーク・トリオ

全席指定 ¥4,000 車いす席 ¥3,200 (学生半額)

出演/ピアノ:山中千尋

ベース、ドラム(未定)

ニューヨークを拠点に世界で活躍する山中千尋が、3年ぶりに大規模な全国ホールツアーを行います。今回は、生誕120周年を迎えるガーシュウィンを中心に、した内容ということで、再び大きな反響を呼びそうです。

パークリー音楽大学でクラシックからジャズに転向した山中は、近年精力的にこの2つのジャンルをつなぐ重要な作曲家ガーシュウィンの楽曲に取り組んできました。

今年はいよいよ、ニューヨーク・トリオでガーシュウィンを中心としたアルバムを制作。新アルバムを携えてのツアーです。



山中千尋

6.30(土)

協賛 FBC

15:00開演/小ホール

初夏の子どもコンサート
「ガリバー旅行記」

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600

(3歳～高校生:半額)

作曲・台本構成/笠松泰洋

演出・振付/広崎うらん

出演/朗読:鶴見辰吾

リコーダー:宇治川朝政

バロック・ヴァイオリン:廣海史帆

ヴィオラ・ダ・ガンバ:福澤 宏

チェンバロ:福岡 彩

演目/音楽朗読劇「ガリバー旅行記」(新作初演)

恒例の「子どもコンサート」が、音楽劇としてより充実したものになります。従来のコンサートとの二部構成ではなく、音楽劇をたっぷりと観ていただく構成。スウィフトの小説「ガリバー旅行記」から、小人の国の争いを描いた「リリパット」、科学者たちが住む空飛ぶ島が登場する「ラピュータ」の2つの物語を上演します。もちろん今回も、子役募集があります。

朗読と音楽、クロス役の子どもたちが一体となって、今の世にも通じる風刺に富んだ物語を、子どもも大人も楽しめるスタイルでお届けします。



笠松泰洋
©柴田博司



広崎うらん



宇治川朝政



廣海史帆



福澤 宏
©studio-mickey.com



福岡 彩



「ブレームンのおんがくたい」(2016.6.11)から



12歳から続けてきた俳優業。カメラを向けると、自然に「絵になる」ポーズと表情を返してくれました。

Special Interview

「ガリバー旅行記」は自分の提案なので特に楽しみです

俳優
鶴見 辰吾
(つるみ・しんご)

1964年東京都生まれ。1977年ドラマ「竹の子すくすく」でデビュー。主な出演舞台に栗山民也演出「アドルフに告ぐ」、徳川幸雄演出「間違いの喜劇」「十二夜」他多数。映画、ドラマの世界でも幅広く活躍。2018年は映画「密偵」(監督:キム・ジウン)、「禁」(監督:榎原佑)等を公開予定



「ガリバー旅行記」をやりたいかった理由

「そういえば僕、ガリバーみたいな体験をしたことがあるんです。今、思い出しました」

突然、鶴見さんの口調が熱帯帯びました。

インタビュ会場に颯爽と現れた鶴見さんは、ダンディで穏やかな雰囲気。和やかに始まったインタビューでしたが、話が過去の「子どもコンサート」のことに及んだ時、冒頭の発言が飛び出しました。

「ハーモニホールふくい」には、「ハーメルンの笛吹きおとこ」「ブレームンのおんがくたい」に続き3度目の登場。今回の「ガリバー旅行記」、これは実は鶴見さんの発案でした。

「このシリーズは地元の子役たちと共演するでしょう?」「ハーメルンの笛吹きおとこの時に、子役のみんなが周りにいて僕だけが大きくて、自分が異邦人のような気がしたんです。これってガリバーじゃない?」

のが特徴です。

「あれは朗読というより、「ハーモニホールふくい」スタイルというオリジナルなものじゃないかな」

生演奏の音楽とともに進行する舞台。音楽との絡み方は特に大きなポイントです。

「作曲の笠松さんとは、一緒に旅行したり稽古したり、同じ時間を多く過ごしてきたという信頼感があります。波長も合うんです。彼が表現したいところが何となくわかるんです。だから、旋律を聴いていると自然にセリフが出る。待ちきれない

か、このスタイルでガリバーをやったら面白いんじゃないかと思っただけです。それが頭のどこかにあったんでしょうね」

子どもにもおなじみの物語ですが、元は大人向けの風刺文学。鶴見さんは、高校時代に教科書で読んで強く印象に残っていたそうです。

「案外難しい内容なんですけど、これを子どもコンサートのスタイルでやれたら、大人も楽しめるものが出てくると思います」

「子どもコンサート」はオリジナルの朗読スタイル

鶴見さんの本業は俳優。朗読という仕事については、どう感じているのでしょうか。

「朗読の方がある意味自由な気がします。一人で何役も演じられるし、演出家であり演者でもあるので自分でコントロール出来る部分が多い。そこが面白いところであり、やりがいがあるところだと感じています」

福井での舞台は、動きもあり子どもたちとの絡みもある。と入れないとかいったことがないんです。今回もどんな音楽になるのか楽しみです」

最後に、福井の印象について伺いました。

「人の知的好奇心が高く、料理は美味しい。俳優は素材でそれをどう料理するか?みたいなところがありますから、食文化が豊かな土地は、芝居や舞台に対する理解が深い気がするんですよ」

前回の公演時、朝、足羽川の近くを散歩したそうです。「魅力的な佇まいの街だと思いました。今度はプライベートでも行ってみたいな」

11.4 (日)
2回公演/大ホールステージ
11:00開演 14:00開演

秋の子ども音楽会 「ステージできく」コンサート(仮題)

ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000 (0歳~高校生:半額)
出演/ヴァイオリン、プロデュース:松谷由美、チェロ:渡邊辰紀
コントラバス:遠藤桂一郎、ピアノ:服部真由子
制作補助/ママさんディレクターズ
※50分(休憩なし)プログラム

子育て中のアーティストが企画し、0歳児から鑑賞できる、「ステージできく」コンサートのシリーズも、6回目を数えます。今回のプロデューサーはヴァイオリニストの松谷由美です。
ステージ上に客席を作るので、目の前で繰り広げられる演奏に子どもたちの目は釘付けです。泣きだしてしまっても、慣れたスタッフが対応してくれますから安心
演奏されるのは本格的なクラシック音楽なので、「子どもや孫が小さくてコンサートに行けない」というお母さんやシニアのみなさんにも好評です。



松谷由美 渡邊辰紀



遠藤桂一郎 服部真由子



「ステージできくはじめてのコンサート」(2017.11.5)から

協賛 株式会社タッセイ

12.8 (土)
16:00開演/大ホール

天使のハーモニー クリスマス・コンサート ソノス・ハンドベル

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (学生半額)
出演/ハンドベル:ソノス・ハンドベル・アンサンブル
オルガン:石丸由佳
曲目/パッパハグノー:アヴェ・マリア、きよしこの夜、ジングルベル
※共催:福井テレビ

恒例のクリスマス企画、今回は家族で楽しめるファミリーコンサートです。
1990年にサンフランシスコで結成して以来、常にハンドベル界をリードしてきた「ソノス・ハンドベル・アンサンブル」が、クリスマスにぴったりの選曲で贈ります。世界を魅了する、芸術的な演奏から生まれる音色はまさに天使のハーモニー。パイオルガンとの共演もあるので、聖夜らしい荘厳な響きも堪能ください。
クリスマス・マルシェも土日2日間にわたって開催されます。



ソノス・ハンドベル・アンサンブル



石丸由佳 ©Naoko Nagasawa

協賛 (公財)げんでんふれあい福井財団

2019
3.17 (日)
14:00開演/小ホール

平成30年度 福井県新人演奏会

全席自由 ¥500 (学生・車いす席:割引なし)
出演/オーディション合格者(ピアノ、器楽、作曲、声楽の各部門)

福井の音楽界の登竜門。恒例の新人演奏会です。
出演者は2月の公開オーディションで選ばれます。参加資格は、福井県在住か出身、または県内の学校に在学経験がある18歳から30歳。ピアノ、器楽、作曲、声楽の4部門があり、合格者の晴れ舞台となるのがこのコンサートです。
ここから巣立ち、国内外で活躍しているプロは数知れず。「越のルビー音楽祭」をはじめ、「ハーモニーホールふくい」のステージを充実させてくれている顔ぶれも多いのです。未来を担う彼らの初々しいステージ。どうぞお立ち会ってください。



「平成28年度 福井県新人演奏会」(2017.3.19)から

協賛 福井ケーブルテレビ株式会社
さかいケーブルテレビ株式会社

2019
3.21 (木・祝)
15:00開演/小ホール

ジュニアが輝く! “音楽の森”コンサート2019

全席自由 ¥500 3歳~高校生・車いす席 ¥100
出演/指揮:清水醒輝
演奏:平成30年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

福井の子どもたちに弦楽アンサンブルの楽しさを知ってもらおうと、2006年から開講している「福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー」。小学生から大学生までの受講生が約10カ月、プロの指導を受けながら腕を磨いています。毎年継続して参加する受講生も多いので、チームワークも抜群です。
アウトリーチコンサートなど、県内各地での演奏を重ねつつ、年度末に集大成として最大の発表の場を迎えます。
今回から、ジュニアの指導で評判の高い、清水醒輝がタクトを執ります。



「ジュニアが輝く!“音楽の森”コンサート2017」(2017.3.20)から



清水醒輝



繰り返しご来場になっておトクに

スタンプラリーに参加しよう!!

- ①ご来場時に当ガイドブックとチケットをお持ちください。
(このページは、切りはなしてご使用になれます。)
- ②入場後、専用受付でホールスタッフがスタンプを押印します。
(後日、まとめてインフォメーションセンターにお持ちいただいても結構です。)
- ③集めたスタンプの数によって、その都度特典が受けられます。

<p>スタンプ 3 個で</p> <p>グラン・シェフ クーゼー お食事券 500円</p> <p>clear</p>	<p>スタンプ 6 個で</p> <p>グラン・シェフ クーゼー お食事券 2,000円</p> <p>clear</p>	<p>スタンプ 12 個で</p> <p>グラン・シェフ クーゼー お食事券 5,000円</p> <p>clear</p>
---	---	--

スタンプ 20 個で

**平成31年度
プレミアム公演招待チケット
引換券プレゼント**

clear

平成30年度 スタンプシート

2018. 5/2 【WED】 列番	5/12 【SAT】 列番	6/3 【SUN】 列番	6/5 【TUE】 列番	6/15 【FRI】 列番	6/30 【SAT】 列番	7/5 【THU】 列番
7/13 【FRI】 列番	7/26 【THU】 No.	8/19 【SUN】 列番	9/25 【TUE】 列番	10/10 【WED】 列番	10/16 【TUE】 列番	11/4 【SUN】 No.
11/7 【WED】 列番	11/22 【THU】 列番	12/2 【SUN】 列番	12/8 【SAT】 列番	2019. 1/14 【MON】 列番		
1/27 【SUN】 列番	2/2 【SAT】 列番	2/23 【SAT】 列番	3/17 【SUN】 No.	3/21 【THU】 No.		

Wチャンス!

前回(平成29年度)のスタンプシートにスタンプを1つでも押された方!下記までご郵送ください。抽選により素敵な賞品を差しあげます。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

送付先
〒918-8152 福井市今市町40-1-1
(公財)福井県文化振興事業団
「スタンプラリー」係

●応募締切●
2018年5月31日(木)
当日消印有効

※ご記入いただきました個人情報につきましては、(公財)福井県文化振興事業団からお送りする公演情報等のご案内の他には使用しません。

フリガナ _____ TEL _____

ご氏名 () -

ご住所 〒 _____

Service Information

チケット購入がインターネットでお手軽に!

「ハーモニーホールふくい」主催公演のチケットは、インターネットでもご購入いただけます。どうぞご利用ください。



パソコン、スマートフォン
タブレットから
365日24時間いつでも購入OK!

購入方法 オンライン登録(無料) → 座席を選択して申込 → クレジットカードで支払 → 郵送もしくはコンビニで受取

ご入会でおトクに

◎会員制度

(公財)福井県文化振興事業団では、下記の会員制度を設け、随時募集しております。

■特別協賛会員

主催事業の目的にご賛同・ご支援いただける方々が対象です。会員期間はご入会の日から1年後の月末迄で、個人会員の年会費は一口につき50,000円です。
※法人協賛会員、冠協賛会員の制度もございます。

特典

- ご芳名掲載
- チケット優先予約(一般・プレイガイド発売日の4日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(枚数制限無)
- チケット引換券のご提供(ご協賛金額の1/4相当分または広告掲載)

■ふくい文化友の会

年会費3,000円で、どなたでもご入会いただけます。

特典

- チケット優先予約
(一般・プレイガイド発売日の3日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(各公演2枚まで)

共通特典 ●情報誌「季刊ブンカ」の送付 ●文化施設等の見学ツアーへの参加

◎平日午後のおトクな企画「ハーモニー ブンカサロン」

特別企画、芸術文化や食にふれていただける「ハーモニー ブンカサロン」

文化にまつわるお話しと演奏をお聴きいただいた後は、コーヒータイムで話題の輪がさらに広がります!

- < 料金 > 全席自由 2,000円(スイーツ付は限定100枚*)
※スイーツ付チケットの購入枚数はお一人様2枚まで
- < 発売日 > 各公演の2ヶ月前の他公演発売日と同日(予定)



2017年の公演から

【第13回】～文豪ゲーテの故郷 フランクフルト～

日程 4月24日(火) 13:30開演
出演者 お話/小宮正安(ヨーロッパ文化史研究者、横浜国立大学教授)
演奏/谷口佳奈香、陣門華子(ピアノ)

【第14回】～オペラ発祥の国 イタリアの音楽を味わいつくす～

日程 6月12日(火) 13:30開演
出演者 お話/田口道子(オペラ演出家)
演奏/安田裕美(ソプラノ)、清水香里(ピアノ)

コンサートへのご来場でおトクに

リピーターの方への特典(スタンプラリー)

いつもコンサートにご来場くださる方々に感謝の気持ちを込めて、ささやかなプレゼントを進呈します。
(詳しくは左頁の情報をご覧ください)

初来場の方へのプレゼント

初めてご来場になった方限定
所定の用紙に、公演当日の感想をご記入、ご提出いただいた際に、500円割引券を進呈します。

和装de割引

来日アーティストを迎えて開催する公演に、和装でご来場された方には、次回以降のコンサートにご利用いただける500円割引券を進呈します。



該当公演は、P.3～20で紹介

公共交通のご利用でおトクに

フレンドリーアート号

嶺南地域から「ハーモニーホールふくい」に来場される方々の利便性を図るため、嶺南地域の各市町を經由する無料送迎バスを運行しています。

【お問い合わせ・お申し込み】
福井県 観光営業部 文化振興課
TEL.0776-20-0582

該当公演は、P.3～20で紹介



電車割引(全ての公演が対象です)

「ハーモニーホールふくい」沿線走る福井鉄道 福武線を利用してコンサートにお越しの方は、ご乗車当日の公演チケットを駅員又は乗務員に提示することにより、どの駅からでも片道大人200円、子ども100円の割引運賃でご乗車できます。



CONCERT INFORMATION

2018.4 - 2019.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

一般・プレイガイド発売日 2月24日(土)

5.2 (水) 馬と緑の楽都音楽祭 in ふくい
ライナー・キュッヒル&福田進一
ウィーンのリサイタル

5.12 (土) スーパー4トロンボーンズ!
18:30開演

6.3 (日) 結成50周年ライブ
15:00開演
～ザ・キングズ・シンガーズ～

一般・プレイガイド発売日 3月24日(土)

6.5 (火) カール・ハイツ・シュツツ&シャルロツテ・バルツェライト
19:00開演
デュオ・リサイタル

6.15 (金) アンドレス・オロスコ・エストラーダ指揮
19:00開演
フランクフルト放送交響楽団
ピアノ: チョ・ソンジン

6.30 (土) 初夏の子どもコンサート
15:00開演
「ガリバー旅行記」

一般・プレイガイド発売日 4月21日(土)

7.5 (木) 越のルビー音楽祭
19:00開演
スペシャル・チエンバー・コンサート

7.13 (金) 越のルビー音楽祭
19:00開演
「オペラへの誘い」Ⅲ ～カルメン・ハイライト～

7.26 (木) 越のルビー音楽祭
19:00開演
若い芽コンサート2018

一般・プレイガイド発売日 5月19日(土)

8.19 (日) サマー・マリンバコンサート2018
15:00開演

一般・プレイガイド発売日 6月16日(土)

9.25 (火) ジュゼッペ・サツパティエーニ リサイタル
19:00開演
～心に響く歌曲を集めて～

一般・プレイガイド発売日 7月14日(土)

10.10 (水) フルガリア国立歌劇場
18:30開演
オペラ「カルメン」(字幕付原語上演)

10.16 (火) 陽気なヴィルトゥオーゾ
19:00開演
ザ・ベース・ギャング

一般・プレイガイド発売日 8月25日(土)

11.4 (日) 秋の子ども音楽会
11:00,14:00開演
「ステージできく」コンサート(仮題)

11.7 (水) 山中千尋 ニューヨーク・トリオ
19:00開演

11.22 (木) 郷古 廉&加藤洋之
19:00開演
ブラームス ヴァイオリン・ソナタ・ツィクルス

一般・プレイガイド発売日 9月15日(土)

12.2 (日) 新内節 人間国宝 鶴賀若狭権方齋
15:00開演
江戸伝統芸能を楽しむタベ

12.8 (土) 天使のハーモニー
16:00開演
クリスマス・コンサート ソノス・ハンドベル

一般・プレイガイド発売日 10月27日(土)

1.14 (月・祝) ニューイヤーコンサート2019
15:00開演
ウィーン・フォルクスオーバー交響楽団

1.27 (日) ロシア国立ワガノワ・ノレエ・アカデミー
16:00開演
「人形の精」&「バキータ」

一般・プレイガイド発売日 11月24日(土)

2.2 (土) ロベルト・フォレス・ベセス指揮
16:00開演
NHK交響楽団
ピアノ: ソン・ヨルム

2.23 (土) 黒川 侑 ヴァイオリン・プロジェクト^{spirit}
15:00開演
ピアノ: 青柳 晋

一般・プレイガイド発売日 1月26日(土)

3.17 (日) 平成30年度 福井県新人演奏会
14:00開演

3.21 (水・祝) ジュニアが輝く!
15:00開演
"音楽の森"コンサート2019

※各種発売日は下記の通りです。

- 特別協賛会員先行：一般発売の4日前
- 友の会会員先行：一般発売の3日前
- 会員先行ネット販売：一般発売の2日前
- 一般発売日：上記に記載
- 一般ネット販売：一般発売の翌日

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
※公演情報は2018年2月7日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ハーモニーホールふくい

チケットのご予約・お問い合わせ

ハーモニーホールふくいチケットセンター

TEL.0776-38-8282 [10:00~17:00]

プレイガイド

ベル、バリオ、エルバ、アル・プラザ武生、シビィ、武生薬市、アル・プラザ鯖江、ヴィオ
サン・プラザ、劇楽堂小浜店・敦賀店



ホームページ <http://www.hhf.jp/>

